

川崎医療福祉大学 / 医療福祉デザイン学科

# 卒業制作作品集

広がる視点



The Collection of Graduation Works

Kawasaki University of Medical Welfare

Department of Design for Medical and Health Care

2023

今年の卒業生は、2年次春からコロナ禍対応の学生生活を強いられ、3年次の終わりにはウクライナ戦争が始まり、心理的に不安な時間を過ごしてきました。長い歴史の上で人類は残酷で悲惨な経験を経ることで、お互いの権利を認め合い、人間の尊厳さらには個人の尊厳を尊重する社会へと向かっていたはずですが、民間人、子供、老人、傷病者、障がい者を問わず傷つけられている現実は、時の流れを逆行しているかに映ります。若い人の心にどのような影響を与えているのか気がかりです。医療福祉の理念は、社会的に弱い立場の人たちに寄り添う共感力が基礎となっています。人は生物である以上、遺伝子的に利己的な存在であることは否めませんが、だからこそ他人への共感や思いやりに感動を覚え、癒されるのだと思います。この図録に掲載されているのは、医療福祉の理念とデザイン思考に裏打ちされた共感力によって課題を見つけ解決を目指した作品です。少しでも多くの人の共感を呼び起こすメソッドは、時代の逆行に抗う力であり心強さと希望を感じます。本学科のバナーには、「欲しいのは技術ではない。気持ちなのです。」と記されています。共感力によって視点を増やし、隠れた課題を解決するデザインは、市場原理下での勝ち負けのデザインとは違う、「芯を食った」デザインと言えます。学生時代の集大成として、思考と工夫を重ねた精一杯の作品を、ご高覧いただければ幸いです。



医療福祉デザイン学科 学科長  
横田 ヒロミツ  
Yokota Hiromitsu



- 
- 01 Ichi Yuka**
  - 02 Irie Marina**
  - 03 Otsuka Shohei**
  - 04 Okamuro Tomoki**
  - 05 Ono Misuzu**
  - 06 Katayama Hina**
  - 07 Kanazaki Sena**
  - 08 Kawase Kanna**
  - 09 Koyama Noa**
  - 10 Shimamura Kyoka**
  - 11 Haikawa Seina**
  - 12 Hirao Kotomi**
  - 13 Hiraoka Yu**
  - 14 Bono Shizuki**
  - 15 Hoshino Tsubura**
  - 16 Yagi Hanae**
  - 17 Wakabayashi Misato**
  - 18 Watanabe Yuto**



**Be  
huSty.**

## Be huSty.

～こころおどる車椅子カスタムサービス～



市 悠花  
Ichi Yuka

研究パネル 5 点  
作品 19 点

「障がいがあってもおしゃれにこだわりたい、かっこよくいたい」という当事者の言葉を形にしたいと考え、卒業研究のテーマとして取り組むことにしました。特に、身体障がい者の方が日常生活をおくるにあたって必要不可欠であることから、車椅子のパーツのカスタムができるサブスクリプションサービスを提案しました。サブスクリプションを採用することで、季節や好みに合ったものを使うことができ、個々の自己表現が可能です。また、カスタムが可能なパーツから 5 種類をピックアップし、布地は 6 パターン用意してコーディネートに広がりを持たせました。今回の研究を通して、障がいに関わらず誰もが自由におしゃれを楽しめるような社会に少しでも近づくきっかけになれば嬉しいです。



## チルミィ

～聴覚障害 APD を知るきっかけ作り～



そらみみ、聞き間違い、うっかりミスは誰しもあることです。しかし、1日に何十回も起こるなら APD（聴覚情報処理障害）かもしれません。現代では 20~30 代の働く世代に自覚する人が増えており、周囲からの心無い言葉に苦しんでいます。実際に当事者の方々にお会いすると、職場でのいじめや引きこもりにつながるほど深刻な状況でした。そこで、自身の努力不足ではないことを本人、周囲ともに伝える必要があると感じ、障害の認知度を高める動画を作りました。見た人の趣味思考に左右されないよう文字を主体として、文字の動きと BGM でキャッチーな印象に仕上げています。この動画が、障害を自分自身の問題として捉えられるきっかけとなれば嬉しいです。



# 思い出記憶帳

MEMORY in NOTE

— HSP に配慮した情報管理ツールの提案 —

## 思い出記憶帳

-HSPに配慮した情報管理ツールの提案-



大塚 渉平  
Otsuka Shohei

研究パネル 6 点  
作品 2 点

近年、HSP（非常に刺激に敏感な人・性格）という性質が社会的に認知され始めています。しかし、その人たちは刺激によるストレスを感じやすく、そこから生じる精神面や身体面への悪影響が問題視されています。そこで刺激を緩和し、かつ対策を立てられるものが必要だと考え、『思い出記憶帳』を作成しました。制作物はルーズリーフとスマートフォンアプリの2点で、ここに感情や情報を書き出すことで脳内の刺激のアウトプットを行ないます。紙面の構成やバリエーション、アプリの見やすさなど、書き手にわかりやすく快適な記入が出来るツールを心掛けました。また、収納用ケースは手に取りやすい場所に置いてもらうよう、インテリアとして邪魔にならない事を意識しました。

# 生活習慣を見直すための インタラクティブ動画の提案



## 生活習慣病を見直すための インタラクティブ動画の提案



岡室 知希  
Okamuro Tomoki

研究パネル 4 点  
作品 3 点

生活習慣病は今の自分には関係ない、まだ大丈夫だと思っていませんか。私も病院で健康診断を受けるまでそう思っていました。自分が生活習慣病のリスクにさらされていることを理解して、日々をおくっている若者はそう多くはありません。そこで、若年層に向けた、生活習慣病を周知し、生活を見直して改善へとつなげることを目的とした動画コンテンツを卒業研究にテーマにしようと考えました。動画は、導入となる動画・大学生の生活習慣・家族の日常のそれぞれに内容の異なる 3 本の動画を制作しています。生活習慣改善の役に立つ動画にするためにストーリーや言葉使いに注意して、正しい医療情報を若い世代にも伝えられるよう見やすさにも気を配り制作しました。



## なないろカンカク展

～若年層へ発達障害を周知する体験イベントの提案～



小野 実鈴  
Ono Misuzu

研究パネル 3 点  
作品 17 点

私は大学で初めて発達障害を学び、一般の方々が関心を持ちづらい現状を知りました。発達障害の方は、視覚・聴覚・嗅覚・触覚・痛覚・前庭覚の感覚に特徴がある場合が多いです。この7つの感覚体験を“カンカクアソビ”とし、発達障害を遊びながら楽しく学ぶことで考えるきっかけを作るイベント「なないろカンカク展」を開催しました。対象は小学生と保護者で、発達障害という言葉は明記せず、各カンカクを表すキャラクターを設定し、絵本のような世界観で気軽にに入る雰囲気を作りました。イベントには110人の方にご来場いただきました。対象の小学生には自分以外のカンカクを知ってもらう機会が作れたと思います。また、年代を問わず楽しんでいただけたと感じました。



## パパドリル

～自宅で学べる両親学級の宅配サービス～



片山 陽菜  
Katayama Hina

研究パネル 5 点  
作品 10 点

友人がコロナ禍により両親学級に参加できず、不安を抱えた状態で出産を迎えたことから、自宅で学べる宅配レンタルサービスの提案を行いました。妊娠・出産についての冊子や妊婦体験ジャケットとその説明動画、沐浴体験ツールを一つのセットにしました。冊子にイラストを使い簡潔にまとめ、ジャケットはデニム素材で制作するなど、消極的なパパでも利用しやすいよう心がけました。対話ができるよう工夫し、検証では「言いづらかったことを伝えるきっかけになった」「ジャケットをつけて実際に生活し、妊婦さんの大変さをより理解できた」などママの不安解消やパパの出産に対する意識の変化が生まれました。「パパドリル」が子供を授かった夫婦の助けになればよいと思います。



## しっくりくるやさしさ展

医療福祉デザインを基点とした“やさしさ”について  
みんなで考えるプロジェクト



金崎 晟南  
Kanazaki Sena

研究パネル 2 点  
作品 20 点

医療福祉デザインをより周知するため、まずはデザインの本質に意識を向けるきっかけづくりの場が必要だと考え、展覧会を開催しました。医療福祉デザインを一言で表すと、「やさしさを形にするデザイン」だと思います。やさしさという概念を具体的な形に起こすことにより、物事に意図してやさしさを組み込むことができるということを示しました。展覧会では私たちの身近に存在している7つの“やさしさ”を視覚的＆体験型の作品として表現しました。当日の会場では観覧者それぞれがデザインに意識を向け、“やさしさ”について意見交換を行う場面が頻繁に見られました。この展覧会はきっかけづくりに過ぎません。今後も医療福祉デザインについて追及していきたいと思います。

めざせ三ツ星病院食  
～見た目が美味しい食器の提案～

mezase mitubosi  
byouinsyoku



## めざせ三ツ星病院食

～見た目が美味しい食器の提案～



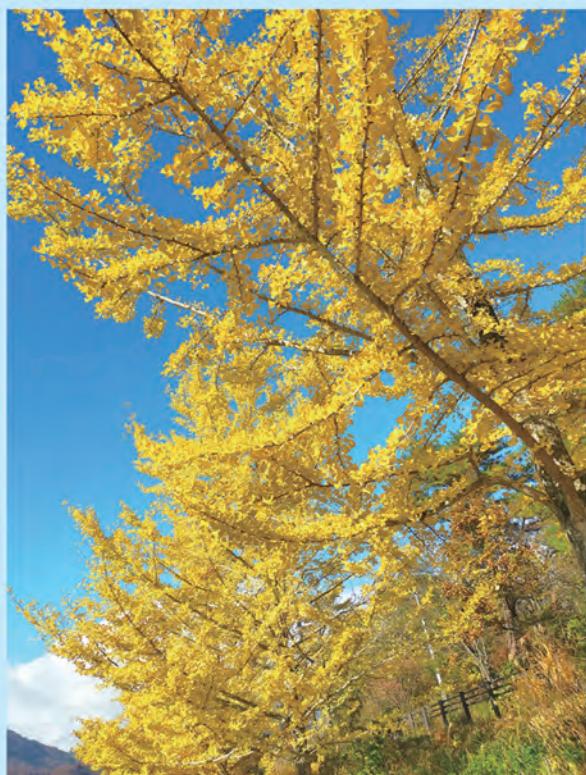
川瀬 葉奈  
Kawase Kanna

研究パネル 8 点  
作品 7 点

私は食べることが好きです。そして食べることは生きる上での楽しみのひとつであると考えます。大学に入学して以来、急性虫垂炎や慢性扁桃炎などに罹患し、入院を経験したことから普通に食事を楽しめることの大切さ、ありがたみを実感しました。そこで病院食に着目し患者さんにとって楽しみの大部分を占める食事を、より楽しいものにしようと考え、卒業研究のテーマとして取り組むことにしました。食器はプラスチック素材にすることで、落としても割れない耐久性と、どんな年代でも運びやすい軽さを重視しています。また、手や指の不自由な患者さんも食べやすいよう、底には滑り止め加工を施しました。さらに曜日ごとにトレーの色を変えることで、曜日感覚を失わせない工夫をしています。



写真と香りによる  
快適な院内環境づくり



## 写真と香りによる 快適な院内環境づくり



小山 乃愛  
Koyama Noa

研究パネル 5 点  
作品 8 点

私は写真を撮ることが得意です。自分が撮影した写真を見返すと、心に良い変化が現れることに気がつきました。写真には見る人をリラックスさせる効果があります。また、香りにも同様の効果があることがわかったため、この 2 つを融合させた展覧会を病院で開催し、利用者のための環境づくりをしようと考えました。四季を感じられる風景を中心に、明るい色味の写真を使用することによって院内の雰囲気のトーンアップを目指しました。香りは、アロマオイルを染み込ませた木製のキューブを用意して、手にとって香りを身近に感じることができるように制作しました。2つの相乗効果でより高いリラックス効果を得ることが期待できます。



**ポーチ・ド・マミー**  
するめの部屋に突然現われた  
ポーチの妖精

**するめ**  
部屋に引きこもりがちな男の子  
自分に自信がない

**いちご**  
元気いっぱいな女の子  
肌荒れが気になっている

**おもち**  
内気な性格の女の子  
メイクは少しだけしたことがある

YouTubeで  
チェック!

**QRコード**

## はうめいく

～「したい」けど「できない」あなたへ～



島村 京花  
**Shimamura Kyoka**

研究パネル 5 点  
作品 5 点

するめの部屋に突如現れたポーチの妖精「ポーチ・ド・マミー」。彼女はメイクを使って、自分に自信のない彼が自信を取り戻し、やってみたいことに挑戦できるようサポートに来た！メイクを始めたくても勇気が出ない人が気軽に見ることが出来る、How to 動画を制作しました。親近感の湧く、どこか垢抜けきれていかないキャラクター達が、スキンケアからメイクアップまで、ポーチの妖精「ポーチ・ド・マミー」と学んでいきます。ポップなイラスト解説 × 字幕で分かりやすく、低コストのオススメ化粧品も紹介しているので、メイクに挑戦しやすいよう工夫しました。ストーリーが進むにつれキャラクターの容姿や表情が変わっていきます。ぜひ本編で確認してください！



**コミュリンク**  
Commulink

仮想空間を活用した療育支援ツール



## コミュリンク

～仮想空間を活用した療育支援ツール～



配川 聖那  
Haikawa Seina

研究パネル 6 点  
作品 3 点

私は、療育を経験した人の話を聞いて、楽しめる療育をテーマに卒業制作に取り組みたいと思いました。療育児は、療育に対する偏見や自分と周りとの比較により、療育を受けることへの不安感や劣等感を抱きやすい傾向が見られます。また、近隣に療育する場所がない場合、保護者にとっては、遠方に行く時間や交通費などの金銭面の心配もあります。そこで、自宅で楽しめて子どもの学習意欲や自己肯定感の向上につなげるメタバース（3 次元の仮想空間やそのサービス）を活用した療育を考えました。いろんな地域や環境で生活をする子ども達が同等に学ぶことができる空間を意識して 2 パターンの仮想空間を制作し、活用を広げるためのプロモーション動画や冊子を提案しました。



- 最近、なんだか貧血ぎみ
- トイレにいってもすっきりしない
- 出した便が普通より細い
- 便に血が混じっていたことがある
- 忙しくて、健康に気を配れない

## 腸美人

お腹の不調、まさか？のサイン？

ポスター



大腸ポリープって、なにもの？

がんになつた腸はどうなる？

便潜血検査の提出方法

がん検査にいこう

大腸内視鏡検査の流れ

冊子内容

## 腸美人

～お腹の不調、まさか？のサイン？～



平尾 都珠  
Hirao Kotomi

研究パネル 4 点  
作品 3 点

大腸がんは早期発見すれば治療後の生存率が高い疾患であるにも関わらず女性のがんによる死因の中で1番多く報告されています。その原因には、現れにくい自覚症状や大腸がん検診の受診率の低さが関わっていると考えました。このことから大腸がんのみならず、消化器系の特徴や大腸がん検診について学べる女性向けの媒体を制作しました。対象は大腸がん検診を受ける40代と、がん検診前に知識を得ていただきたい30代です。治療の抵抗感や羞恥心、がんについて知ることへの恐怖心を減らすをコンセプトに、普段医学的な情報に触れる機会がない方でも情報を受け入れやすいよう、嫌悪感の少ない表現を用いてメディカルイラストを制作しました。他、漫画等を用いて読者の理解を促しています。

# 認知症ケアのためのデザイン 伝える！つながる！



## 認知症ケアパスのリデザイン



## ウェブサイト / ステッカー



## 思い出カプセル



## 伝える！つながる！ 認知症ケアのためのデザイン



平岡 優  
Hiraoka Yu

研究パネル 5 点  
作品 7 点

私の暮らす倉敷市の認知症サポートにおける課題として、認知症人口が増加傾向にあること、認知症についての情報収集手段がわかりにくいくこと、認知症に対するサポート体制が周知されていないことなどが挙げられます。今回の卒業制作では、倉敷市健康長寿課地域包括ケア推進室と共同で、倉敷市が発行する認知症ケアパスをリデザインし、それに関わるツールの提案を行いました。制作過程では、地域の認知症当事者とそのご家族、認知症をとりまく地域の関係者などの様々な思いを汲み取ることに注力しました。本冊子をきっかけに、支援機関と利用者のつながりが生まれ、その方らしい暮らしを送るために支援環境づくりに貢献できることを願っています。

## 高校生のための精神疾患啓発

### ココロが疲れたら。



#### キャラクター



## 高校生のための精神疾患啓発

-ココロが疲れたら。-



坊野 紫月  
Bono Shizuki

研究パネル 4 点  
作品 7 点

#### 冊子

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

**対象**

**内容**

**小学生**

脳の働き・仕組み  
熱中症  
頭を守る理由

**中学生**

脳の働き・仕組み  
記憶と脳の関係  
睡眠と脳の関係

**高・大学生**

脳の働き・仕組み  
薬物と脳の関係

**社会人**

脳の働き・仕組み  
オーバーフロー脳  
スマホ脳

**高齢者**

脳の働き・仕組み  
認知症の種類・症状

**冊子**

脳リミット 中学生

脳リミット 小学生

脳リミット 高・大学生

脳リミット 社会人

脳リミット 高齢者

脳の3DCGモデル

脳の構造

## 脳リミット

年齢別でスッキリ解説！



星野 圓良  
**Hoshino Tsubura**

研究パネル 5 点  
作品 11 点

手軽に情報を調べられる便利な世の中ですが、インターネットなどに長時間触ることで脳構造に悪影響を与え、記憶力や集中力が低下するリスクも存在しています。このことから脳についての仕組みや働きなどを知ることで、健康管理意識の向上に繋げるきっかけづくりを提案しました。脳は年代ごとに注意するポイントが変わってくるため、年齢に応じて取り上げるテーマを変えて冊子を制作しています。目を引く冊子にするためにテーマに合わせてポップでキャッチーな3DCGを制作し表紙に使用しました。医学的な内容を、抵抗感なく読んでもらうため、3DCGを用いてリアルすぎず、立体的な表現になるようメディカルイラストレーションを制作しました。

避難時にさっと着られてポンっと入れられる  
**HINAPON**

便利な10の  
ポケット付

付属冊子

**HINAPON**

～車椅子利用者に送る避難服の提案～

八木 花依  
Yagi Hanae研究パネル 4 点  
作品 6 点

私は、自分の服を作るスキルとデザイン力を活かして卒業制作を行いたいと考えており、近年災害が増えている中で、車椅子利用者に向けた防災グッズが少ないことを知りました。そこで、被災時にさっと着られる避難服を制作することにしました。避難服はポンチョの形にすることで、雨が降ったときのレインコートになったり、避難所で着替えをするときなどの目隠しになったり、たくさんのメリットを持たせました。一番のポイントは、10個のポケットを取り付けたことです。500mlのペットボトルやA4サイズのものまでポンチョ1枚に収納することができます。そして着用しやすいように袖を短くすることでタイヤに擦らないようにし、背中側の丈を短くすることで、もたつきを軽減させました。

**パンフレット**

**視覚過敏**

どうやって対策しているの?

はっけん! 感覚過敏  
指導者用ガイドブック  
45分 Ver.

ワークシート

はっけん! 感覚過敏  
「五感」ってなんだろう?  
じやあ…「過敏」ってなんだろう?  
どうも聞く感じがすまうことです。  
「感覚過敏」は音や光など、感じる刺激を強く感じ取る

あなたは人それそれ?  
感覚過敏がどうなるの?  
感覚過敏がどうなるの?  
「感覚過敏を体験してみよう」  
同じものでも、人にによって見え方はちがう!  
「感覚過敏はどうしてなるの?」  
「感覚過敏の原因として考えられるごと  
「感覚過敏はがまんできるかな?」  
同じ感覚でも感じ方は人によってちがう  
「感覚過敏はがまんできる?」  
「感覚はくつの中に入った石のようなもの!」  
どうやって刺激の対策をしている?  
イヤーマフをたいけんしてみよう!  
イヤーマフ OFF  
まわりに感覚過敏の子がいたらどうすればいいのか?  
考えてみよう!

「感覚過敏」とは、視覚や聴覚といった感覚への刺激を過剰に感じてしまう状態です。近年注目を集めつつありますが、認知度や理解度は十分とは言えないのが現状です。このことから、症状や対策の重要性を知るきっかけづくりとして、小学生を対象とした学習ツールを制作しました。対象が小学生のため、わかりやすい言葉とイラストで構成し、視覚過敏の見え方や、対策グッズの体験動画も交えて、意欲的に授業に取り組めるものを目指しました。指導者用の冊子では台本を収録し、初めてでも導入しやすいツールとなっています。本作品が感覚過敏を知るきっかけとなり、誰もが生活しやすい社会に少しでも貢献できれば幸いです。

## はっけん！感覚過敏

～感覚過敏を知ることができるツールの提案～



若林 実里  
Wakabayashi Misato

研究パネル 4 点  
作品 11 点



## 血管腫とその治療法を理解し 向き合うためのツールの提案



渡辺 優人  
*Watanabe Yuto*

研究パネル 4 点  
作品 4 点

血管腫とは、年齢を問わず発症し、治療後も跡が残ることが多く、生涯付き合っていく方が多い疾患です。しかし、現状では病気の見分け方や新しい治療法の情報発信が不十分なため、患者さんが充実した情報を得られていません。この事から、患者さんとご家族が血管腫とその治療法を理解し向き合うためのツールを 3 つ制作しました。1 つ目は、岐阜大学医学部附属病院小児科の研究班が制作された血管腫の WEB サイトの興味関心を引くイメージキャラクターを制作しました。2 つ目は、お薬と治療法を理解するための 3 種の動画を制作しました。3 つ目は、WEB サイトへの誘導を目的とした配布カードです。本制作により、患者さんとご家族が安心して治療に専念できる手助けになると幸いです。

川崎医療福祉大学 / 医療福祉デザイン学科

# 卒業制作作品集 2023

企画・発行：令和4年度 川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科 卒業制作展実行委員会

委員長 小野実鈴

副委員長 入江麻里奈 岡室知希

展示計画 金崎晟南 市悠花 渡辺優人

広報 / 図録・DM・チラシ・ポスター・デザイン

島村京花 川瀬栞奈 片山陽菜

平岡優 八木花依 配川聖那

庶務 小山乃愛 星野円良 平尾都珠

会計 坊野紫月 若林実里 大塚涉平

発行日 2023年2月28日

発行 川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科 卒業制作展実行委員会

印刷 西尾総合印刷株式会社



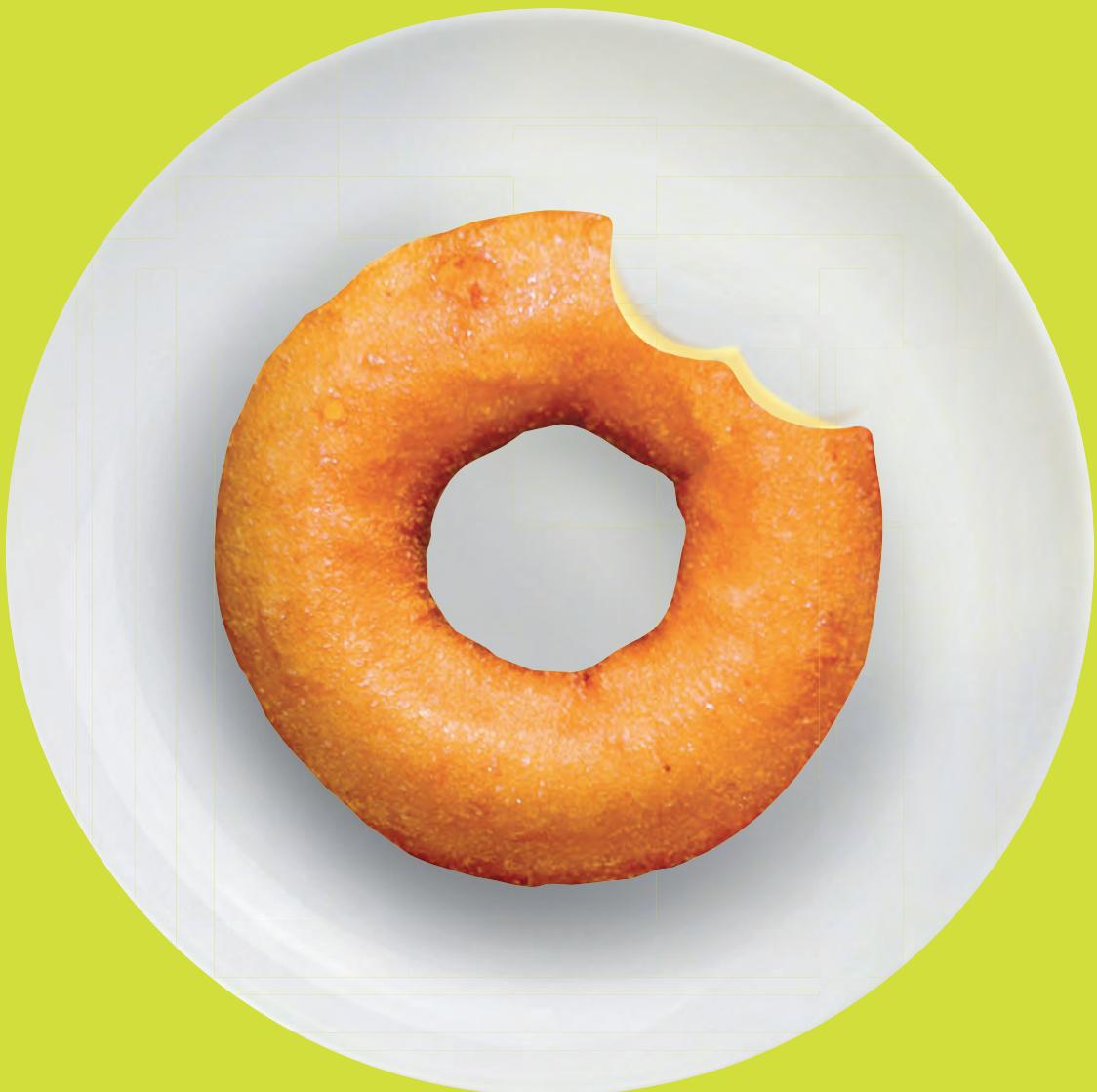
川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療福祉デザイン学科

〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288

086-462-1111(代表) : 内線 54356

design@mw.kawasaki-m.ac.jp

※本書を無断で複製・転写することを禁じます。



## The Collection of Graduation Works

Kawasaki University of Medical Welfare

Department of Design for Medical and Health Care